

行事報告

第23回大阪大学と上海交通大学共催学術交流セミナー
「接合ワークショップ」ご報告

接合評価研究部門 接合構造化解析学分野 教授 麻 寧緒

広域アジアものづくり 技術・人材高度化研究センター 特任助教 馬 運五

2021年11月8日に第23回大阪大学-上海交通大学学術交流セミナーが、オンラインにて開催されました。本セミナーは、当時の溶接工学研究所が溶接分野を中心とした先方との国際共同研究を起源とし、1995年から始まった国際交流であり、現在は「接合」「材料」「情報」「物理・レーザー」「船舶海洋」「スマートシティ」の6つの分野にまで発展して全学として取り組んでいます。

「接合ワークショップ」の開会式で、本研究部・田中所長と上海交通大学レーザ加工溶接研究所・LI Zhuguo 所長よりご挨拶を頂き、コロナ・パンデミックの中でも両

大学接合分野の連携による研究成果をオンラインにてPRする重要性を強調しました。

本ワークショップには、上海交通大学から約14名、接合研から10名の教員と学生が参加し、両校からそれぞれ4件の研究発表を行いました。接合研から劉准教授、田代助教、Ammarueda 特任助教と大学院後期課程2年生 Aung さんが、最新の研究成果を発表し、活発な質疑討論が行われました。

閉会式では、近藤教授が両分野の共同研究成果をまとめ、2022年度のワークショップをぜひ対面開催したいとの期待を述べました。

